平成 30 年度　放課後等デイサービス自己評価表について

＊このみでは、厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」の自己評価表を使い、保護者の皆様にご協力をいただき実施しました。この結果を踏まえて、今後もより良いサービスを提供し、安心してご利用いただけるよう努めていきます。

		チェック項目	取り組み状況
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	法令を順守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	法令で必要とされる配置数を確保しています。また、障害者施設で働いた経験者が対応しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされているか	全館バリアフリー、手すり、点字ブロック、オストメイト対応トイレ、シャワー室等の設備があります。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	半年に一度の見直しを行い、お子様の成長に合わせた支援計画を立てています。また、その都度、会議を行いより良い支援が提供できるようにしています。 ・各学校からの授業参観などに出かけ、学校での様子を見学し、発達の過程を共有することでよりよいサービスが提供できるよう連携を行っています。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	一人ひとりに合わせた活動を取り入れたり、季節の行事を取り入れたりしています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在のところ対応していません。平成 30 年度は、兄弟姉妹が参加できる「このみ祭り」を予定しています。 ・平成３０年度は、「このみの時間」と称し、館内を使った秋祭りを行いました。近隣の学童、学校にもお知らせを配布したところ、少数の参加がありましたが、交流にまでは至りませんでした。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	利用方法、利用者負担について、事業所の重要事項説明書を提示して契約時にご説明を行っています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	・利用者さんの受け渡し時や連絡帳を通して、利用日の活動内容や様子をお知らせしています。 ・希望される保護者の方には、放課後等デイでの様子を見学していただけます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	定期的なモニタリングを行っています。希望者には、時間を設け対応しています。 ・成長段階での不安やお悩みがあれば、随時対応します。

	⑩	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	事業所内に意見箱を設置、事業所に受付者・解決責任者を設け、苦情受付体制を整えています。いただいた苦情に対しては、迅速かつ適切に対応しています。
	⑪	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	利用者さんの受け渡し時や連絡帳を通して、情報交換ができるよう配慮しています。
	⑫	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	現在のところ対応していません。今後は、ホームページ等を利用して対応していきます。 ・年に一度広報を配布します。また、外出での様子を連絡帳にて報告しました。また、自己評価表を作成し、保護者の方に評価していただき、その結果を配布し、掲示板、ホームページで公表しました。
	⑬	個人情報に十分注意しているか	個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫に保管してあります。
非常時等の対応	⑭	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	・マニュアルは策定してありますが、周知・説明は現在のところできておりません。 ・今後は、機会のあるたびにその都度説明を行っていきます。
	⑮	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	月に１回避難訓練を行っています。
満足度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	楽しんで通所していただけるよう、一人ひとりの個性に応じた取り組みを行っています。
	⑰	事業所の支援に満足しているか	